

平成30年度社会福祉法人朝日町社会福祉協議会事業計画

I 基本方針

超高齢化・少子化の急速な進展に伴い、核家族や家族関係の変化の中で、社会的孤立や排除、ひきこもりなどの課題や、経済・雇用環境の厳しさからの貧困・格差問題など、地域における福祉課題は、多様化・複雑化しています。

こうしたなか、国においては、医療・介護予防、地域の助け合いによる生活支援などが一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」の構築や、生活困窮者の自立支援などの施策や仕組みづくりが進められています。

また、福祉サービスの供給体制の整備や充実を図るため、社会福祉法が改正され、社会福祉法人として経営組織の強化を図るとともに、地域の課題やニーズを踏まえた公益的な取組を推進することなどが求められています。

本会では活動の基本理念である「誰もが 笑顔で 元気に暮らせる まちづくり」の実現に向け、ケアネット活動をはじめ地域の支え合い活動などに取り組んでおり、今後とも生活支援につながる、地域のニーズ把握や行政、自治振興会、地区社会福祉協議会など関係団体等のネットワークづくりと連携を図り、地域のもつ力と公的な支援体制が協働し「我が事・地域丸ごと」という意識の醸成を図り、地域福祉の中心的担い手としての役割を果たしてまいります。

今年度は、平成26年度から5年間の具体的な活動を推進する「第3次朝日町地域福祉活動計画」に対する検証・評価を行うとともに、平成31年度からの「第4次朝日町地域福祉活動計画」を策定いたします。

また、新たな事業として、教育支援のために寄附を受けました基金を活用して、大学生等に奨学金を給与するほか、朝日町町内に所在する企業等へ出向き、社会貢献活動への協力を依頼してまいります。

II 事業計画

1 社協活動の周知と充実

(1) 広報啓発事業

- ① 広報あさひ「ふくしの窓」の掲載
- ② ケーブルテレビ等の活用による福祉・ボランティア活動の広報啓発
- ③ ホームページの充実

(2) 朝日町社会福祉大会の開催

(3) 役職員の研修

- (4) 福祉募金活動の推進
 - ①社会福祉協議会会費・賛助会費
 - ②赤い羽根共同募金
 - ③日本赤十字社会費
 - ④更生保護事業資金
- 2 地域福祉事業の推進
 - (1) 地域福祉活動事業
 - ①地区社会福祉協議会の充実
 - ②積極的な出前福祉講座の開催
 - ③小地域福祉活動の推進（ケアネット活動）
 - ④生活支援体制整備事業の推進
 - ⑤福祉に関する映画の上映会開催
 - ⑥第4次地域福祉活動計画の策定
 - ⑦地域ふれあい交流会の実施
 - (2) 高齢者福祉事業
 - ①一人暮らし高齢者及び高齢者世帯への支援（訪問活動等）
 - ②冬期入浴送迎サービスの実施
 - (3) 障害者福祉事業
 - ①障害者福祉団体への活動支援・助成
 - ②障害者との交流事業の開催
 - ③外出支援サービスの実施（介護自動車の貸出し・送迎等）
 - (4) 子育て支援事業
 - ①ママ&ベビーヨガサークルへの支援
 - (5) 一般介護予防事業
 - ①ふれあい・いきいきサロンの推進
 - ②外出支援サービス事業の充実（福祉機器・介護自動車の貸出し）
- 3 福祉総合相談・生活支援事業
 - (1) 福祉総合相談所の開設
 - (2) 生活困窮者自立支援相談事業
 - (3) 生活福祉資金貸付事業
 - (4) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
 - (5) 消費生活相談事業
- 4 ボランティア活動の推進
 - (1) ボランティア情報紙「ハートフル通信」の発行
 - (2) 「朝日町ボランティアフェスティバル」の開催
 - (3) ボランティア養成講座の開催

- (4) ボランティアグループの活動支援・活動費助成
 - (5) ボランティアサポーターの設置
 - (6) ボランティア保険の加入促進
 - (7) ボランティアの登録、斡旋、相談事業の推進
 - (8) ボランティア活動推進校の活動支援（小・中・高）
 - (9) 災害ボランティアセンターの体制整備
 - (10) ボランティアセンター運営委員会の充実
- 5 福祉団体への支援
 - (1) 活動支援・活動費の助成
- 6 《新》奨学資金の給与
 - 7 朝日町民生委員児童委員協議会（事務局）
 - 8 朝日町善意銀行（事務局）
 - 9 朝日町共同募金委員会（事務局）
 - 10 日本赤十字社富山県支部朝日町分区（事務局）